



かけ算(1)

久々の通信です。2年生は、10月から研発の単元に入っています。

1 本時について

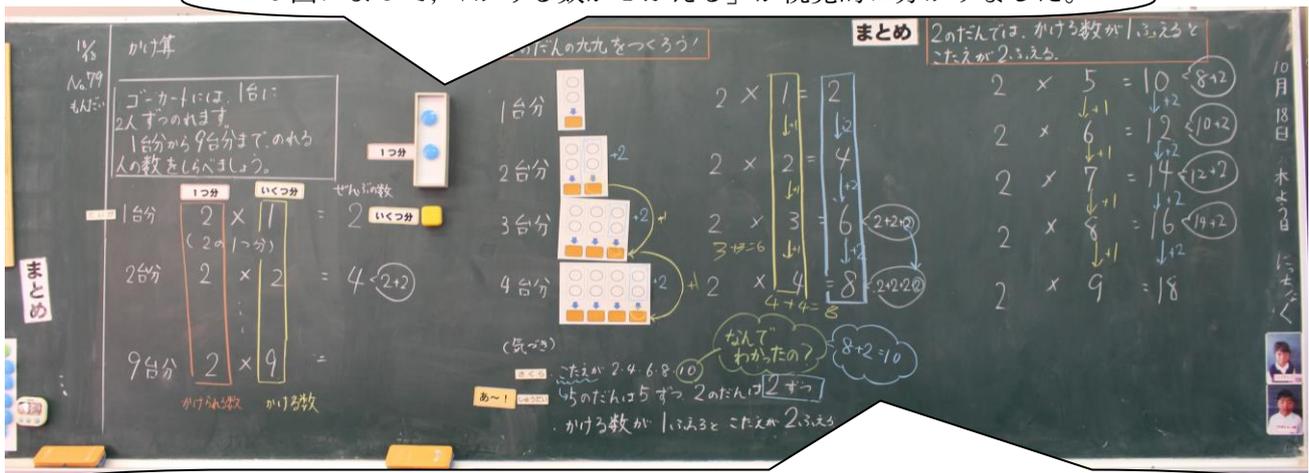
本時は、2の段を構成することがねらいの授業でした。九九の練習までできればいいなあと思っていましたが、時間が足りず、構成するまでで終わりました。

研発でこだわりたいのは、基準量をどう捉えるか？図をつかって、どのように説明させるのか？というところです。

2 板書

“1”を捉えやすくするための教具。研究主任の助言です。

この図によって、「かける数が1ふえる」が視覚的に分かりました。



「こたえが、2・4・6・8・10になる」に対して、「しつもんがある！なんで10ってわかったの？」という発言。少しずつですが、疑問を言えるようになってきました。

3 ふり返り

全体的に、展開部分の時間が長く、間延びした感じがしました。「いろいろなことを押さえない！」と思うと、教師の発問が増えすぎて、子どもの意欲が減っていきます。

子どもたちが、「図で説明すると…」「つづくわえると…」と言えるようにしていかないといけないと感じました。一つ一つ、教師が「図で説明するとどうなるの？」「どうやって答えがわかるの？」など聞きすぎるのは、よくないなあと思います。自分の考えをかかせるときにどんな発問をするのか、机間巡視をどのようにしていくのか。改めて、反省したいと思います。